



診療所かわら版



令和3年2月10日(No.218)

更別村国民健康保険診療所

受付・診療時間



受付発券機	午前 8:00 ~ 11:30	午後 12:00 ~ 16:30
受付時間	午前 8:45 ~ 11:30	午後 13:00 ~ 16:30
診療開始時間	午前 9:00	午後 13:30
山田所長外来予定	月・火・木曜の午前、金曜の午後 (出張などにより、変更することがありますのでご了承下さい)	

「今知りたい！」新型コロナワクチン講座

メディアで新型コロナワクチンに関する様々な情報があり、適切に判断するのが非常に難しいと思われます。最新の情報を診療所医師の見解も含め、紹介します。更別村での具体的なワクチンスケジュールに関してはまだ未定なので、しばらくお待ちください。

分からないことは診療所の医師に気軽にご相談ください！



「どういったワクチンなの？」

複数の製薬会社から出ていますが、現在開始予定になるワクチンは**メッセンジャーRNA ワクチン**という新しい技術を用いたワクチンです。これらのワクチンが接種されると、ウイルス表面のトゲの部分(図の○部分)のタンパクが作られ、それを元にウイルスに対する免疫がつくこととなります。**生きたウイルスはワクチンの中には入っておらず**、またすぐに処理されるため**人間の遺伝子の情報に変化が加わることもありません**。

接種回数は2回、間隔を3~4週間空けて接種します。**筋肉注射**で、肩の上のほうに注射します。自己負担費用はかかりません。

「効果は怎なの？」

今あるワクチンと比較しても、**発症予防効果が非常に高いもの(95%以上)**となっています。ちなみにインフルエンザワクチンの発症予防効果は約50%です。ここでいう発症予防効果とは、**「水を接種した人の発症率よりもワクチンを接種した人の発症率のほうが95%少なかった**」ということです。新型コロナウイルスで重症化の危険が高いとされている高齢者・基礎疾患をもつ人でも、65歳以上の発症予防効果が94.7%、重症化の危険がある人の発症予防効果が90.9%と高い効果が期待されます。また感染した際の**重症化を防ぐ効果も期待されています**。



裏に続きます

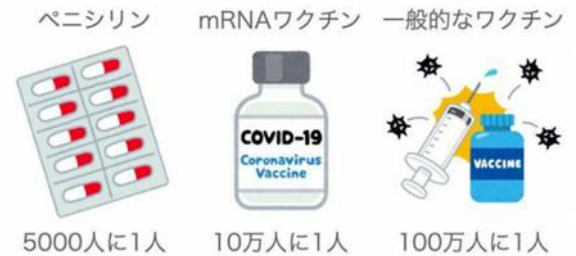
「安全性はどうなの？」

基本的には安全に大きな問題はないと考えられます。最も頻度が高い副反応は注射した部分の痛み(接種後 12~24 時間に強い)です。全身の副反応(だるさ、頭痛、発熱など)は概ね 2 日以内に改善します。

「アナフィラキシー(重いアレルギー反応)は大丈夫？」

ワクチン接種後の危険な副反応としてアナフィラキシー(複数の臓器に急速に現れる緊急性のあるアレルギー反応で、息苦しさ、失神、下痢、皮膚の症状など)があります。他の薬と比較して**特別アナフィラキシーの頻度が高いわけではありません**(図参考)。接種後短時間で起きることがほとんどなの

アナフィラキシー反応が起こる頻度



で、接種後 30 分間は院内でスタッフがすぐ対応できるように経過観察する時間を設ける予定です。もし起きたとしても、薬を使えば必ず治ります。**ワクチンや薬、食べ物などでアナフィラキシーを起こしたことがある人は慎重に検討したほうが良さそうです。**アナフィラキシー以外のアレルギー(花粉症、食物アレルギー、アトピーなど)は大きな問題はないとされていますが、心配な人は医師と相談しましょう。

「まだわかっていないことは何？」

- ・ワクチンの予防効果がどのくらいの期間続くかわかりません。
- ・無症状の感染に対しての予防効果ははっきりしたことは不明です。
- ・他の人への感染を予防できるかは不明です。ただ症状のある人を減らすことで感染拡大は予防できるだろうとされています。

「現時点の診療所医師としての考えは？」

安全性に重大な問題はなく、十分効果があるため、ワクチン接種は望ましいと考えます。人によって背景やワクチンの考えが異なるため、それぞれ正しい情報を元に判断することが望ましく、今回の情報も参考に考えていただければと思います。またワクチンを接種したとしても、**当面は現在の感染対策の継続が必要となります**ので、油断しないことも大切です。引き続き皆様のご協力よろしくお願いいたします。 文責：松本

出前宅配便「健康講座」のお知らせ

診療所では、毎年3月までの冬期間に「健康講座」を実施しています。今年は…

「人生の心づもり～あなたが大切にしたいこと～」

と題し、診療所の医師が各地域に出向いて、お話しさせていただきます。

行政区やサークルなどでお集まりの際に、ぜひご活用ください！！

お申込みは……診療所 52-2301